

各教科等授業改善プロジェクト

# 授業改善研修会 特別活動（学級活動）

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ

群馬県教育委員会事務局

## ～本日の内容～

- 1 群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針  
～特別活動（学級活動）の「特に現れてほしい子供の姿と重点」～
- 2 「特に現れてほしい子供の姿と重点」設定の背景
- 3 「特に現れてほしい子供の姿と重点」を具現化するために  
～今年度の実践を基に～

### 本日のまとめ

- 計画委員と共に見通しを持って学級活動を計画・運用する
- 意見の違いと話合いの視点への気づきを促す支援を行う

# 群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針

共通認識したいこと

## 自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

幼稚園教育要領や学習指導要領の資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）の育成を目指して、具体的な取組の例を示します。

- 〈取り入れたい場面〉を意識した問題解決的な学びを行いましょう。
  - 教師は見守りつつ、適切な支援（意欲や目的意識を高める問いかけ、比較・分類・関連等を意識した発問等）を行いましょう。
- ※子供たちが好きなことを自由にしてよいということではなく、課題の解決に向け、友達と協働しながら自分たちの力でより良い方法を考えることができるようにすることが大切です。

〈取り入れたい場面〉

- 自己決定 当事者意識を持ち、主体的に学習に取り組む
- 対話・交流 自分の考えを広げ、他者との共感や理解を深める
- 対話・交流 試行錯誤 失敗や誤りから学び、より効果的な解決策を導く

変化の激しい社会を  
自分の力で  
歩んでいける人

エージェンシーを發揮（自律した学習者）



発達状況に応じて、「自分で考え、決める」割合が増えていきます。

ポイント

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて、環境の構成をしましょう。

● 水遊びの場面（水遊びおもちゃ）



昨日、先生がくじらから水を出していたよ。

どうしようにすればいいのかな？



水が出ないよ…

出た！ ベットボトルを持ち上げてみるよ。

水が高いところから低いところに落ちる仕組みを利用した「くじらのおもちゃ」を用意して、見守ります。

子供たちが何度も試しながら、あきらめずに自分たちで、「くじらのおもちゃ」から水を出す方法を見付けることができました。

教科学習の基盤となる遊びが自然に行われます。

小学校

ポイント

「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

● 1年算数「ながさくらべ」の比較の仕方について考える場面



友達の粘土と長さを比べたいな。でも輪かすと粘土が切れちゃう…



リボンを使えば比べられそう。鉛筆も自分でも比べられるかも…

リボンや鉛筆等、比較に使える具体物を用意して、自由に使えるようになります。

子供たち同士で試行錯誤しながら、長さの比べ方を考えることができました。

中学校

ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきましょう。

● 1年理科「光の性質」の全身が映る鏡の大きさを考える場面



実際に測る



作図して考える

学習形態や学び方、解決の方法を生徒が選ぶようになります。



自分は実際に実験をして確かめなければ、友達のように前に学んだ内容も覚えても手数が合っていないとさうだな。

様々な方法で考えたことを交流する良さや味わうとともに、光の性質を多面的に考えることができました。

総合的な学習（探究）の時間



総合的な学習（探究）の時間は、実社会や実生活の課題を解決する実践の場であり、そこでの振り返りが各教科等の学びに深まりと広がりを生み出すこととなります。



体験や交流を通して課題を見いだす場面



仲間ととらえ考える場面



探究してきたことをアウトプットする場面

ポイント

探究意欲（ワクワク感）を高められるような課題と出会う活動を設定したり、やりがいや達成感を味わえるよう、自分の思いを形にする場を設定したりしましょう。

高等学校

ポイント

自らの生き方や社会の課題の解決に向けた探究的な学習となるように、単元・題材をデザインしましょう。

● 英語コミュニケーション1 課題について考察する場面

私たちの身近な地域の課題ってどんなことがあるかな？

誰かが住みやすい町にするには、どうしたらいいかな？

Your Project

To work on social issues around you and to give a presentation in English

私たちの町は課題化が進んでいるよ

Solutions

To widen the road

We pave gravel roads

(make a road)

Let's make a slope

町を改善しよう

実社会における課題を自分事化し、分析・考察した上で、具体的な提案・解決策を英語でプレゼンテーションする単元をデザインします。

地域や社会を調べ、試行錯誤しながら課題の解決につながる提言をすることができました。

行事等



暮らしの思いを自由に表現する作品展



自治体の団体にまわす手紙の行幸



生徒主体で初めを担う生徒会活動



自分で事業所を見つけて決める職場体験



暑い地域づくりを目指す花植えボランティア

ポイント

活動自体が目的ではなく、自分たちで行事を作り上げていく意義を実感し、より良い社会を実現するために何ができるかという視点を持って生活できるように支援しましょう。

上記の場面はあくまでも一例です。総合的な学習（探究）の時間と行事等は、どの校種にも置き換えて考えることができます。



# 群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針

## 自分事化 自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!

### 《 取り入れたい場面 》



自己決定

当事者意識を持ち、主体的に学習に取り組む

対話・交流

自分の考えを広げ、他者との共感や理解を深める

試行錯誤

失敗や誤りから学び、より効果的な解決策を導く

### ポイント

「課題を自ら見だし、考える」場面を増やし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるようにしましょう。

小学校

### ポイント

自分で決定し、他者と交流しながら、友達と試行錯誤する場面を増やしていきましょう。

中学校

# 群馬県教育ビジョンと令和6年度学校教育の指針

## ～確かな学力の育成～

教師が「～させる」授業から、**児童生徒が「～する」授業へ**

各教科等で特に現れてほしい子供の姿

### 特別活動（学級活動）

- 問題や課題を自分事として捉え、集団や自己をよりよくするための解決方法を考え、実践している。

各教科等の指導の重点

- 意見の違いや多様性を認め合い、折り合いを付けて「合意形成」を図る活動を設定する。
- 解決方法を自分に適しているかを客観的に見つめ直し、一人一人が「意思決定」する活動を設定する。

### 授業参観の視点

- 生徒が議題を自分事として捉えている姿
- 折り合いを付けて合意形成を図っている姿

## 2 「特に現れてほしい子供の姿と重点」設定の背景

### 学級活動の特質

- (1) 学級・学校生活をよくするための課題を見だし、解決するために **話し合い**、**合意形成**し、協力して**実践**する（**自治的能力**を育む）
- (2) 学級での**話し合い**を生かして、自己の課題の解決のために**意思決定**して**実践**する（**自己指導能力**を育む）
- (3) 学級での**話し合い**を生かして、将来の生き方を描くために**意思決定**して**実践**する（**自己実現につながる力**を育む）

#### 《 取り入れたい場面 》



自己決定	当事者意識を持ち、主体的に学習に取り組む
対話・交流	自分の考えを広げ、他者との共感や理解を深める
試行錯誤	失敗や誤りから学び、より効果的な解決策を導く

## 2 「特に現れてほしい子供の姿と重点」設定の背景

### 学級活動の特質を踏まえた指導の充実

個人では解決が難しい問題

- (1)  
議題：**児童生徒が**問題を発見し、「クラスで解決すべき問題」として選定する。  
計画委員等と教師と一緒に議題を選定し、クラス全体で決定する。

**『みんなもよく、自分もよい』**ことを決める。

(2) (3)

- 課題：**教師が**「共通の問題」として設定する。  
年間指導計画に位置付ける。

## 2 「特に現れてほしい子供の姿と重点」設定の背景

### ～特に現れてほしい子供の姿と重点～

各教科等で特に現れてほしい子供の姿

特別活動（学級活動）

- 問題や課題を**自分事**として捉え、集団や自己をよりよくするための解決方法を考え、実践している

各教科等の指導の重点

- ・意見の違いや多様性を認め合い、折り合いを付けて「合意形成」を図る活動を設定する。
- ・解決方法が自分に適しているかを客観的に見つめ直し、一人一人が「意思決定」する活動を設定する。

共通認識したいこと

**自分事化**

**自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!**



### 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

#### 昨年度の取組

#### (1) 学級や学校における生活づくりへの参画

#### 昨年度のまとめ

- 合意形成までのプロセスを子どもが身に付ける
- 教師の支援を事前に行い、計画委員が主体的に話し合いを進める

#### 学級活動(1)における話し合いの進め方

合意形成の手順を子ども達が理解し、判断できるようにする。



○子ども達の話し合いの様子に合わせて、  
「2つの意見のよいところを合わせることができたね。」  
「今日は1つの意見をさらにパワーアップさせられたね。」等、  
よかったことやできたことを明確にして伝えたり掲示したりして、**次回に生かせるように**する。

※教師が最初から示す必要はない。

#### 「事前の活動」の充実

自治的能力を育むために

適切な議題選定・話し合いの経験を積み重ねる

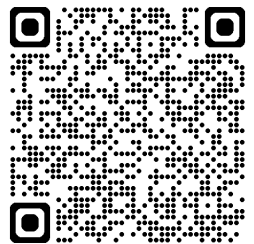
計画委員が中心

<事前の活動>

- ①問題の発見
- ②議題の選定
- ③議題の決定
- ④計画の作成

②④は  
計画委員会

昨年度の  
資料はこ  
ちらから



# 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

昨年度の取組 「事前活動」の充実

「事前の活動」の充実

再確認

学級活動（1）は、**自治的能力**を育む

自治能力ではない

子どもが、「ただしたい」ことをするのではない

→教師の適切な関わりの下行う経験を積み重ねる

「事前の活動」の充実

自治的能力を育むために

適切な議題選定・話し合いの経験を積み重ねる

計画委員が中心

＜事前の活動＞

- ①問題の発見
- ②議題の選定
- ③議題の決定
- ④計画の作成

②④は  
計画委員会



過程	日時	主な活動
事前	11/6	・学級目標についてのアンケート調査を基に、自己や学級の目標の達成状況を評価する。(あ)
	11/7	・アンケート結果から、計画委員会で議題を選定する。
	11/9	・学級全体で議題を決定する。(あ) (い)
	11/13	・議題に対して自分なりの案とその理由をまとめる。(い)
本時	11/24	・3年生0学期にクラスで取り組むことについて話し合い、具体的な取組を決定する。(あ) (う)

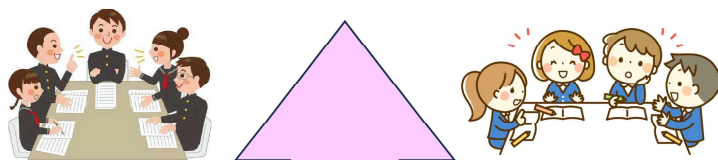
# 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

## 邑楽町の取組

「自発的・自主的な活動ができる児童生徒の育成」  
～児童生徒が目的意識をもって取り組む学級活動（1）の工夫を通して～



自発的・自主的な活動ができる児童生徒



手立て①◆目的意識をもたせる工夫  
手立て②◆話し合いをまとめるための工夫

**邑楽町の児童生徒の実態および前年度の課題**

- ・話し合いがまとまらない
- ・話し合いの進行がスムーズにできない
- ・自分の意見に固執しすぎてしまう
- ・目的意識をもって話し合いに臨めない

**教師の願い**

- ・小、中学校9年間で段階的に話し合いのスキルを向上させたい
- ・自発的・自主的かつ適切に集団に関わる態度を育てたい

学習指導要領における目標

(1)「多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。」より、話し合いの進め方やよりよい合意形成、意思決定の方法などを身に付けることが求められる

**成果**

- 事前にアンケートを取るなどし、提案理由や話し合いの目的を明確化し、さらに提示しておくことで、目的意識をもって話し合いに取り組むことができた。
- 振り返りと事後指導を充実させることで、クラス（個人）がよくなったことを実感し、次の学級会にも目的意識や必要感をもって取り組む様子が見られた。
- 話し合いで何かを決める際、「みんなで毎日取り組める」など条件や観点を与えることで、実現性のある方法や効果の出そうな方法を考えようとする姿が見られた。

**課題**

- 昨年度からの取組である3～4人の小グループでの話し合いを取り入れた際、全体で考えさせたい内容が少人数での話し合いの段階で消化されてしまい、全体での話し合いが淡泊な内容になってしまう場面があった。
- 「比べ合う」から「まとめる」の場面において、班ごとの意見交流の段階で、すでに意見が固定されてしまうことがあったので、多様な考えを大切にするための折り合いの付け方のさらなる工夫が必要である。
- 事前の活動において、学級会を充実させようとするほど計画委員が休み時間等を準備に費やすことになってしまったので、時間の確保の仕方を工夫する必要がある。

出典：令和5年度邑楽町教育研究所特別活動推進研究班 研究構想図より抜粋



### 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

#### 【今年度の取組の方向性に向けて】

本県	授業者
<p>○昨年の情報交換会で参観者から「中学校では、<b>いつ、どのよう</b>に<b>計画委員の支援を行えばいい</b>のか分からない」という意見が多く聞かれた。</p> <p>◇昨年の実践で合意形成へのプロセスについて研究し、例示することができたが、<b>授業におけるより具体的な支援</b>について提案していきたい。</p>	<p>○<b>事前の活動</b>において、学級会を充実させようとするほど<b>計画委員</b>が休み時間等を準備に費やすことになってしまったので、<b>時間の確保</b>の仕方を工夫する必要がある。</p> <p>◇「比べ合う」から「まとめる」の場面において、班ごとの意見交流の段階で、すでに意見が固定されてしまうことがあったので、多様な考えを大切にするための<b>折り合いの付け方のさらなる工夫</b>が必要である。</p>

### 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

#### 【今年度の取組の方向性に向けて】

本県	授業者
○昨年の情報交換会で参観者から 「 <b>計画委員の自主的活動</b> 」が 聞かれた。	○ <b>事前の活動</b> において、学級会を充実さ す必要がある。
◇昨年の実践で合意形成へのプロ セスを していきたい。	◇「比べ合う」から「まとめる」の場面 、 ための <b>折り合いの付け方のさらなる工夫</b> が必要である。



### 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

本日のまとめ

- 計画委員と共に見通しを持って学級活動を計画・運用する
- 意見の違いと話合いの視点への気づきを促す支援を行う

計画委員の自治的活動

合意形成を図る活動の充実

### 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

本日のまとめ

- 計画委員と共に見通しを持って学級活動を計画・運用する
- 意見の違いと話合いの視点への気づきを促す支援を行う



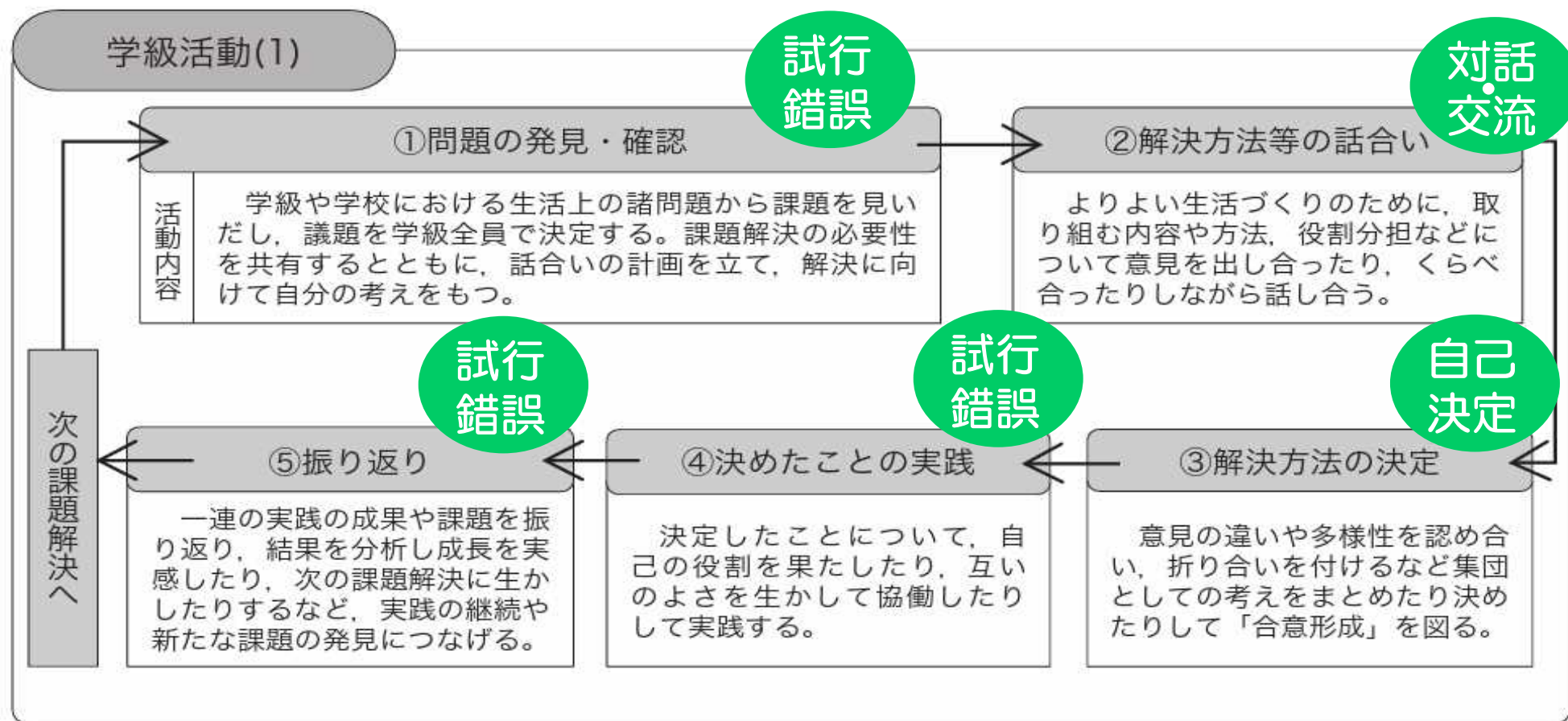
**計画委員の自治的活動**



合意形成を図る活動の充実

### 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」の学習過程（例）



出典：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編

# 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

邑楽中学校では

## 【GJ委員 打合せフローチャート】

クラス全員に関わること

GJ委員に関わること

### 議題の選定

- 議題の集約 ( / )

確認

- ★学級目標の達成状況
- ★議題ボックス
- ★その他の悩み等

- アンケートの作成・集計 ( / )

○ロイロノートで作成

- 議題の選定 ( / )

○アンケート結果をもとに議題を選定

意識

- ★必要性
- ★優先順位
- ★創造性

### 議題の提示・決定

- 提案理由の設定 ( / )

- ①現状・課題・問題点
- ②具体的な取組
- ③取組後の状態

- 議題の提示・決定 ( / )

- クラスルームで議題を周知
- 議題に対する意見を入力

- 意見の把握 ( / )

- どんな意見があるか把握
- ※必要があれば再アンケート

### 当日の流れ確認

- 当日の流れの確認 ( / )

- 議事進行表を最終確認
- (話し合いマニュアルの確認)



学級会当日 ( / )

### 事後の活動

- 学級会報告書の掲示 ( / )

○学級会報告書の作成・掲示

- 活動の振り返り ( / )

○振り返りシートの作成

# 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

邑楽中学校では

## 【GJ委員 打合せフローチャート】

クラス全員に関わること

GJ委員に関わること

議題の決定

□ 議題の集約

- ★学級
- ★議題
- ★その他

確認

□ アンケートの作成

○ロイロノート

□ 議題の選定

○アンケート結果

- ★必要性
- ★優先順位
- ★創造性

意識

### 学活準備委員

- ・ フローチャートに沿って、学級活動を自治的に計画・運用する
- ・ 5、6人の班でローテーションする
- ・ 役職の希望をとり、それを基に班を編制する  
議長1、副議長2、書記2、PC書記1
- ・ 班での話し合い時は、サポートに回ったり、実態把握に努めてその後の全体討論の発問を考えたりする



# 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

邑楽中学校では



担当のGJ委員



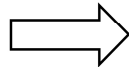
朝・・・朝学活  
 昼・・・昼休み  
 放・・・放課後

## 【GJ委員 打合せフローチャート】

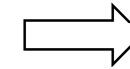
クラス全員に関わること

GJ委員に関わること

### 議題の選定



### 議題の提示・決定



### 当日の流れ確認

□ 議題の集約 (9/10) **昼**

- 確認
- ★学級目標の達成状況
  - ★議題ボックス
  - ★その他の悩み等

□ 提案理由の設定 (9/12) **生徒C, D**

- ①現状・課題・問題点
- ②具体的な取組
- ③取組後の状態

□ 当日の流れの確認 (9/13)

- 議事進行表を最終確認
- (話し合いマニュアルの確認)

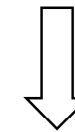
□ アンケートの作成・集計 (9/11) **生徒A, B**

- ロイロノートで作成

□ 議題の提示・決定 (9/12)

- クラスルームで議題を周知
- 議題に対する意見を入力

**学級会当日 (9/17)**



### 事後の活動

□ 議題の選定 (9/11) **朝**

- アンケート結果をもとに議題を選定

□ 意見の把握 (9/13)

- どんな意見があるか把握
- ※必要があれば再アンケート

□ 学級会報告書の掲示 (9/18) **生徒E, F**

- 学級会報告書の作成・掲示

□ 活動の振り返り (9/25)

- 振り返りシートの作成

意識

- ★必要性
- ★優先順位
- ★創造性

# 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

## 議題の選定

### □ 議題の集約 ( / )

確認

- ★学級目標の達成状況
- ★議題ボックス
- ★その他の悩み等

### □ アンケートの作成・集計 ( / )

○ロイロノートで作成

### □ 議題の選定 ( / )

○アンケート結果をもとに議題を選定

意識

- ★必要性
- ★優先順位
- ★創造性

**R6 邑楽中学校3年4組**  
～6月を振り返って アンケート結果～

<3年4組 クラステーマ>  
**金緑成尊** ~Go for your BIG DREAMS~  
クラステーマに  
対する現在の点数 **77.6点**

**良かった点**

- ・前より色んな人と関われるようになってきた (成・尊)
- ⇒木曜日のレク good!
- ・挨拶の意識向上・声が大きくなった (成)
- ・分からない問題を教え合う行動が増えた (尊)
- ・今月も給食の準備が早かった (全)
- ・1分間スピーチが前より長かった (成)
- ・遅刻ギリギリで来る人が減った (成)

**改善点**

- ・チャイム着席・25分登校 (時間意識)
- ・給食当番
- ⇒自分の意見の主張 (人任せ× 言葉で伝える)
- ・互いが互いのことを尊重すること
- ⇒個性を發揮しやすい雰囲気づくり
- ※継続して関わられる人を増やす必要あり (レク・席替え)
- ・状況に応じたメリハリ (話を聞くとき・休み時間)
- ・授業に向かう姿勢 (全体の場での意見発表)



## 改善点

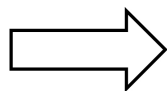
- ・チャイム着席・25分登校 (時間意識)
- ・給食当番
- ⇒自分の意見の主張 (人任せ× 言葉で伝える)
- ・互いが互いのことを尊重すること
- ⇒個性を發揮しやすい雰囲気づくり
- ※継続して関わられる人を増やす必要あり (レク・席替え)
- ・状況に応じたメリハリ (話を聞くとき・休み時間)
- ・授業に向かう姿勢 (全体の場での意見発表)

学級の実態に応じて、学級で解決すべき議題を計画委員と協力して選定しましょう。

point

# 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

## 議題の提示・決定



### □ 提案理由の設定 ( / )

- ①現状・課題・問題点
- ②具体的な取組
- ③取組後の状態

### □ 議題の提示・決定 ( / )

- クラスルームで議題を周知
- 議題に対する意見を入力

### □ 意見の把握 ( / )

- どんな意見があるか把握
- ※必要があれば再アンケート

## <提案理由のフォーマット>

- ①クラスには□□という現状があり、
- ②○○することで、  
(今回のゴール)
- ③△△になりたい。

## <提案理由例> 6月7日の学活より

- ①クラスには一人一人の居場所はあるが、まだクラス全員と話せている状態ではないという現状があり、
- ②今回、仲を深めるための取組を考えることで、
- ③修学旅行に向けて、色々な人と安心して関われるクラスになりたい。

具体的な言葉で提案理由を設定し、生徒が議題を自分事に捉えられるように支援しましょう。

point

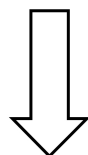
# 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

## 当日の流れ確認

□ **当日の流れの確認** ( / )

○議事進行表を最終確認

(話し合いマニュアルの確認)



**学級会当日** ( / )

## 事後の活動

□ **学級会報告書の掲示** ( / )

○学級会報告書の作成・掲示

□ **活動の振り返り** ( / )

○振り返りシートの作成

## GJ委員話し合い進行表

3年 4組 第4回 学級会 2024年 6月 7日(金) 第2校時			
議題	クラスの仲を深めるための具体的な取組について決めよう		
提案理由	① クラスには□□という現状があり、 一人一人の居場所はあるが、まだクラス全員と話せている状態ではないという現状があり、 ② ○○することで 今回、仲を深めるための取組を考えることで、 ③ △△なりたい。 修学旅行に向けて、色々な人と安心して関わられるようになりたい。		
GJ委員	議長 小林 祐月	副議長 清水 愛唯	
	副議長 小倉 陽	黒板書記 清 優希愛	
	書記 田沼 虎輝	ノート書記(PC) 塩田 尚智	
話し合いのめあて	効果的な取組を、反論を交えながら話し合おう。		
決まってること	・場所は 小グループでの話し合いはGJ委員のチーム ・取組は1つでなくて良い・クラスとして行う取組を考える		
話し合いの順序	話し方		
1 始めの言葉	これから、第( 4 )回学級会を始めます。		
2 GJ委員の紹介	議長の( )です。(一言)☆副議長・書記も同様。		
3 議題と提案理由の確認	今日の議題は「クラスの仲を深めるための具体的な取組について決めよう」です。 提案理由の説明を( )さん、お願いします。 <b>提案理由は、</b>  ありがとうございました。皆さんも目的意識した話し合いをしましょう。		
4 話し合いのめあての確認	先ほどの提案理由も踏まえ今日の話し合いのめあては、 「 」です。(一言お願いします!)		
5 先生の話	話し合いの前に先生から一言いただけます。青木先生、お願いします。		

## 話し合いマニュアル

①意見を出し合う。【出し合う】

議長

「○○さんから意見を発表してください。」

班員

「私は○○という取組がいいと思います。  
なぜなら○○だからです。」

考えた理由がわかるように**理由まで話す**  
※理由がない場合は理由を問い直す



②どこに分類されるか判断する。【比べ合う】

議長

「どこに分類されると思いますか？」

班員

「○○だから右下に分類されると思います」

実現性が高ければ右へ・効果が高ければ上へ  
→**実行しやすく効果がある取組は右上へ**

**point**

**事前の打合せをしっかりと設定しましょう。**



# 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

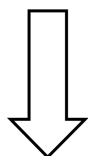
## 当日の流れ確認

邑楽中学校では

### 当日の流れの確認 ( / )

○議事進行表を最終確認

(話し合いマニュアルの確認)



### 学級会当日 ( / )

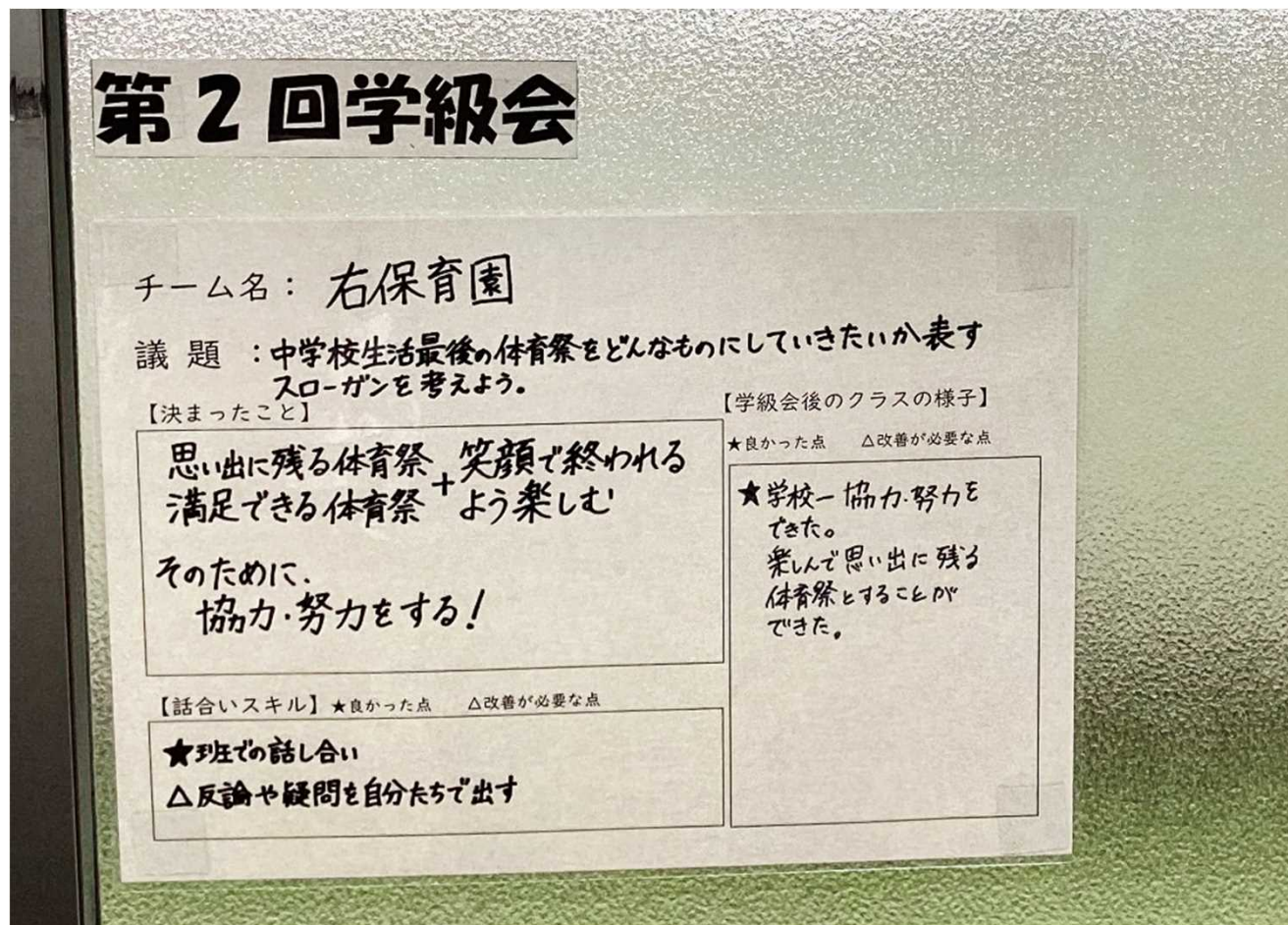
## 事後の活動

### 学級会報告書の掲示 ( / )

○学級会報告書の作成・掲示

### 活動の振り返り ( / )

○振り返りシートの作成



学級会報告書をGJ委員が作成し、廊下側の窓に掲示していきます。



# 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

**after**

挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 自動化 ヘルプ JUST PDF 4

Q7 × ✓ fx

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	<b>【GJ委員 打合せフローチャート】</b>										クラス全員に関わること		GJ委員に関わること				
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	

**【GJ委員 打合せフローチャート】**

確認

意識

事後の活動

学級会当日 (11/25)

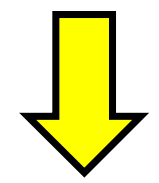
**before**

**【GJ委員 打ち合わせフローチャート】**

議題の決定	議題の提示	当日の流れ確認
<input type="checkbox"/> 議題の集約 (5/30) 座 意識 ★必要性 ★優先順位 ★創造性 <input type="checkbox"/> アンケート作成 (5/30) ○Eメール ○フォーラム <input type="checkbox"/> 議題の決定 (5/31) 朝 ○アンケート結果をもとに議題を決定する	<input type="checkbox"/> 提案理由の設定 (6/3) 清水 ①現状・課題・問題点 ②具体的な取り組み ③取り組み後の状態 <input type="checkbox"/> 議題の提示 (6/4) 小倉 ○クラスルームで議題を周知 ○議題に対する意見を入力 <input type="checkbox"/> 意見の把握 (6/5) ○どんな意見が出ているか把握し、ゴールを見通す ※必要であれば再アンケート	<input type="checkbox"/> 話し合いマニュアルの確認 (6/6) ○話し合いマニュアルを確認し当日の流れを最終確認する ↓ <input type="checkbox"/> 学級会当日 (6/9) 振り返りの作成 <input type="checkbox"/> 振り返りシートを作成 (7/1) 清 <input type="checkbox"/> 振り返りシートを作成し 掲示する 録田 <input type="checkbox"/> 決まったことの実践を促す

邑楽中学校では

PPで作成したものに手書きで記入



Excelで作成し、授業日ごとに入力し保存

データの蓄積や計画委員との情報共有に便利

### 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

本日のまとめ

- 計画委員と共に見通しを持って学級活動を計画・運用する
- 意見の違いと話合いの視点への気づきを促す支援を行う

計画委員の自治的活動

合意形成を図る活動の充実

# 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

## はばプラⅡの基本的な流れ

### 1 つかむ

- 議題、提案理由、「話合いのめあて」などを学級全体で確認させる。

<進め方の例>

- ①はじめの言葉 ②計画委員の紹介 ③議題の確認
- ④提案理由や「話合いのめあて」の確認

「話合いのめあて」

### 2 出し合う

- 一人一人の意見を発表し合う場を設定する。
- 発言の苦手な児童生徒が参加しやすい雰囲気をつくる。
- 理由を明確にして発表させる。その際、提案理由や話合いのめあてに沿って言えるようにする。

### 3 比べ合う

- 出された意見の内容を共有させる。
- それぞれの意見を分類したり、整理したりして、互いの考えの違いや共通点を確認させる。

### 4 まとめる（決める）

- 最終的に折り合いを付けるなどして、集団としての「合意形成」を図り、全員の総意としてまとめさせる。
- 話合いで決定したことを確認させる。
- 話合いの振り返りをさせる。

(学級会ノートや、振り返りカードの活用)

【振り返り】

### 育成を目指す資質・能力(1)の例

○学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、**解決するために話し合い**、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。

対話  
交流



「出し合う」「比べ合う」場面では、

○意見に対する個々の理由（思い）を十分に出し合う。

○視点を基に、**理由を比べ合い**、意見をしばっていく。

理由が折り合いを付ける際の判断材料になる

### 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

#### シンキングツールの活用

対話  
交流

班の中で出た意見を「効果」と「実現性」の2軸のシンキングツールにプロットして整理していく。



それぞれが出した意見に対して2つの視点で活発な意見交流が行われる。

**この後の展開をどう考えますか？**

効果高

意見 A

意見 B

実現性高

意見 C

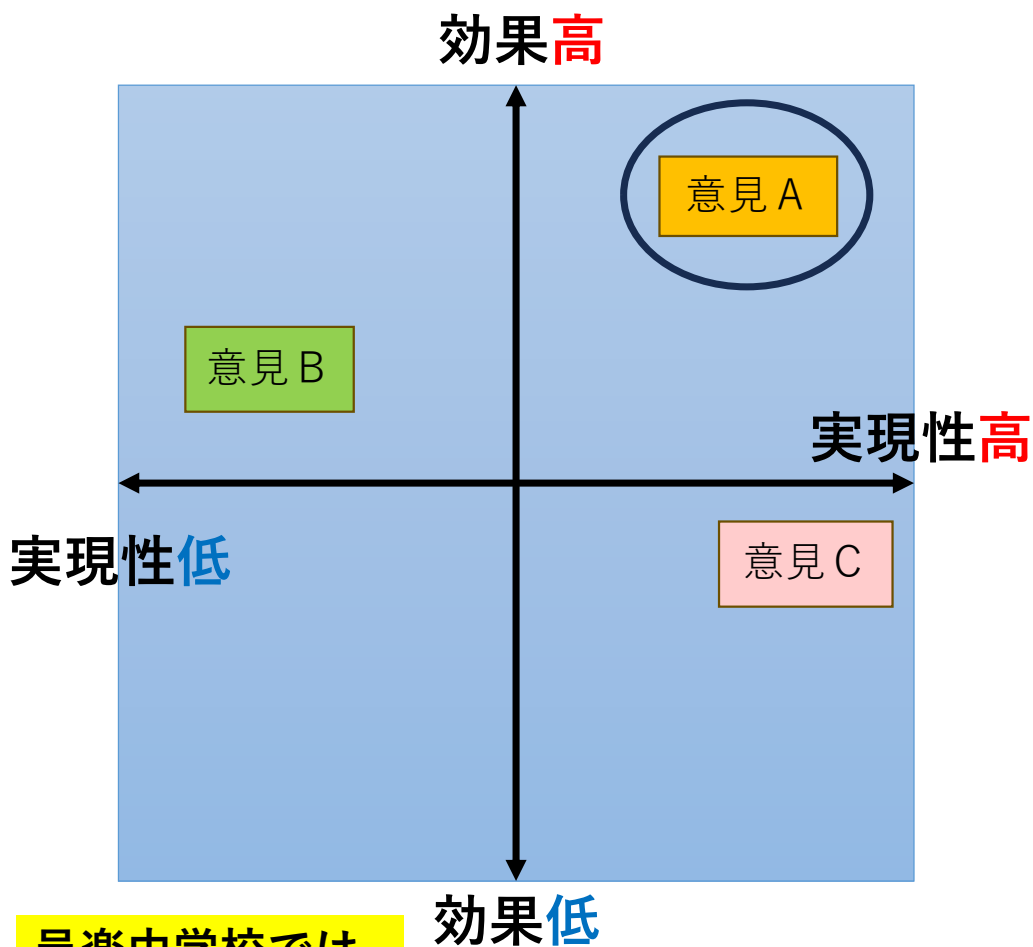
実現性低

効果低

邑楽中学校では

### 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

#### シンキングツールの活用



#### この後の展開をどう考えますか？

班の意見をどちらも高い「意見 A」としてまとめ、発表する。



- ・ 班の中で話し合いが終結してしまっている。
- ・ 貴重な少数意見が埋もれてしまっている。

『比べ合う』活動時に、全体討論が盛り上がり、深まらない。

対話  
交流

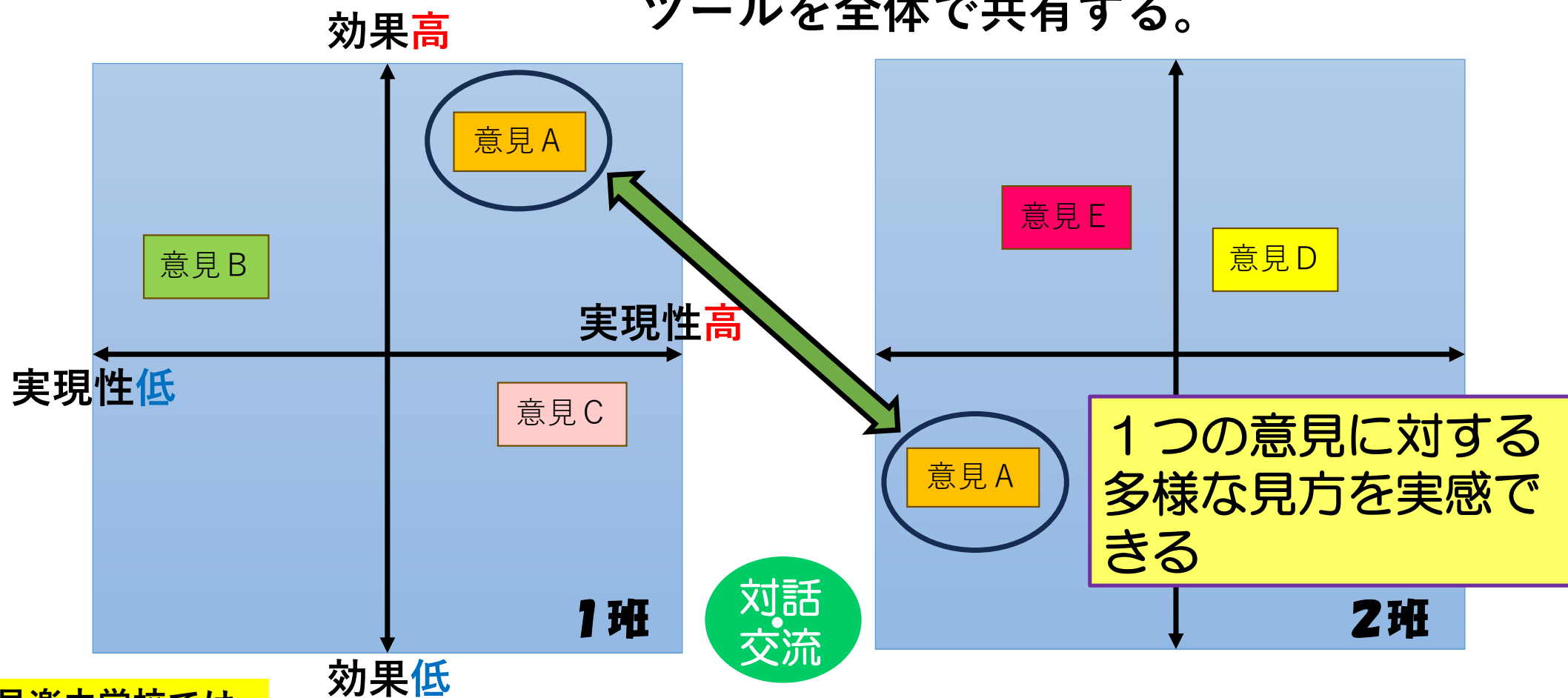




### 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

#### シンキングツールの活用

班では意見をまとめずに各班のシンキングツールを全体で共有する。



邑楽中学校では

### 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

#### 9月17日の学活より

一人一人が個性を発揮できるようになるための具体的な取組を考えよう



『個性を発揮できる裏係を決める』

対話  
交流

**高高**

各自が個性を発揮できる係は見付かるし、やりがいもある。

**低低**

今ある係もあり、やることが増えて大変、やる人とやらない人で差ができてしまうのは個性の発揮につながらない。



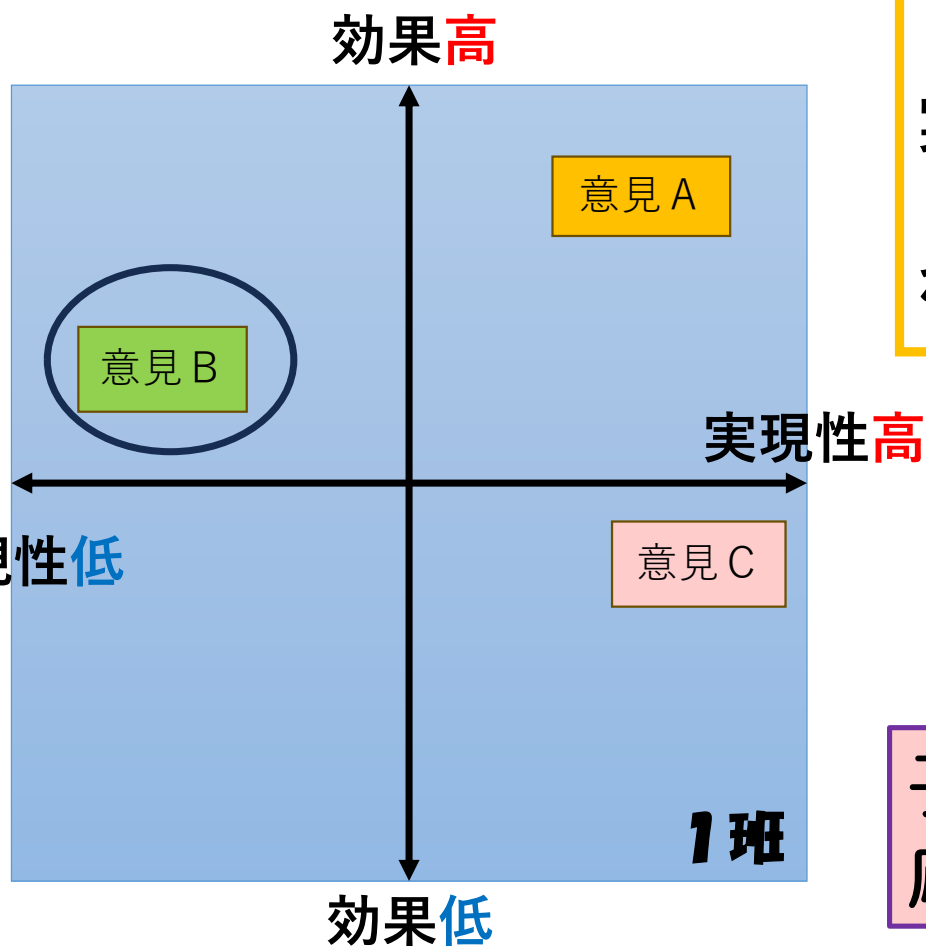
二つの班以外の生徒にもGJ委員が意見を求め、活発な意見交流につなげることができた。

個々の意見を可視化し、整理する環境を整えましょう。

point

### 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

#### 少数意見にも目を向ける



【先生からの発問】  
1班の「意見B」は効果高・  
実現性低となっていますが、  
どうすれば実現性を高めら  
れるでしょうか？



対話  
交流



多様な意見を認め合い  
ながら合意形成を図る。

自己  
決定

子どもに任せきりにせず、必要に  
応じて適切に関わりましょう。

point

### 3 「特に現れてほしい姿と重点」を具現化するために

#### 生徒の声

同じ意見が班によって捉え方が違うことに驚いた。私は、クラスで目立つ方ではないが、自分が役に立つような裏係を見付けて役に立ちたいと思った。

自己  
決定



自分たちの班では実現性が低いと思った意見だったが、他の班の人の意見で実現可能な気がしてきた。やってやるぜ！！

自己  
決定



#### 特に現れてほしい子供の姿

○問題や課題を自分事として捉え、集団や自己をよりよくするための解決方法を考え、実践している



## 最後に・・・

自発的、自治的な活動は、特別活動固有の特質であり、なかでも学級活動の「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」は、特別活動における自発的、自治的な活動の基本となるものである。

児童生徒の自発的、自治的な活動を助長する指導のために、合意形成のための話し合い活動の充実や実践活動の場・機会と時間を確保すること。

小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会中学校特別活動部会行政説明「生徒の自発的、自治的な活動の効果的な展開」より一部抜粋

令和6年度全国学力・学習状況調査  
【児童生徒質問紙】

(40) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。

学校	群馬県	全国平均との差
小	83.6%	+1.1
中	78.4%	-2.2

数値は、肯定的な回答(「している」「どちらかと言えはしている」とした児童・生徒の割合)

**自分事化**

**自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す!**